



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月28日

上場会社名 太洋工業株式会社  
コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月2日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 073-431-6311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2022年12月21日～2023年6月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,761	0.2	61		41		33	
2022年12月期第2四半期	1,764	6.3	24		18	75.3	10	85.8

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 33百万円 ( %) 2022年12月期第2四半期 13百万円 ( 81.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	5.68	
2022年12月期第2四半期	1.82	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,985	2,616	51.9
2022年12月期	4,794	2,667	55.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 2,587百万円 2022年12月期 2,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		3.00	3.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2022年12月21日～2023年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,144	14.3	41		37	18.8	23	40.3	3.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	5,951,600 株	2022年12月期	5,951,600 株
2023年12月期2Q	6,226 株	2022年12月期	6,226 株
2023年12月期2Q	5,945,374 株	2022年12月期2Q	5,921,474 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れや、ウクライナ情勢の長期化による地政学リスクの高まりに加えて、物価高の長期化等が景気を下押しする懸念はあったものの、企業収益の改善を背景として、雇用情勢や所得環境が改善したことから緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する電子基板業界は、スマートフォン及びパソコン等の民生品やデータセンター向け製品の需要は低迷したものの、長期化していた電子部品の供給不足が回復傾向にあることから、EVや運転支援システム関連を中心とした自動車向けの需要がけん引し、引き続き堅調に推移いたしました。

このような経済環境の下、電子基板事業及び鏡面研磨機事業において販売は増加したものの、テストシステム事業及び産機システム事業において販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。

これらの結果、連結売上高は1,761百万円（前年同四半期比0.2%減）と、前年同四半期連結累計期間に比べ2百万円の減収となりました。

損益については、電子基板事業及び鏡面研磨機事業において売上高が増加したことに伴う影響はあったものの、テストシステム事業及び産機システム事業の売上高が減少したこと、電子基板事業及びテストシステム事業の売上総利益率が低下したこと並びに人件費や広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が増加したことに伴う影響により営業損失61百万円（前年同四半期は24百万円の営業損失）、経常損失41百万円（同18百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円（同10百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (電子基板事業)

高機能品FPC案件の減少から医療機器メーカー向けの販売、及び社内量産案件の減少からその他のセットメーカー向けの販売は減少したものの、産業用タッチパネル等の需要が堅調に推移したことによりディスプレイメーカー向けの販売、及び高機能モデルの開発が活発に行われたことによりカメラメーカー向けの販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、仕入販売製品の増加等により売上総利益率が低下したこと及び人件費や海外拠点での売上増に伴う費用が増加したことにより減益となりました。

その結果、売上高1,316百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益244百万円（同12.1%減）となりました。

## (テストシステム事業)

パッケージ基板向け検査機の受注により外観検査機の販売は増加したものの、海外市場におけるFPC向け半自動機の大型案件の販売があった前年同四半期の反動減や国内外の電子基板メーカー各社において設備投資に慎重な動きがみられたことにより通電検査機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により損失が拡大いたしました。

その結果、売上高180百万円（前年同四半期比20.8%減）、セグメント損失80百万円（前年同四半期は58百万円のセグメント損失）となりました。

## (鏡面研磨機事業)

機械の修理・メンテナンスの受注が堅調に推移したことに加えて、リチウムイオン電池用フィルム加工向け等の研磨機及び研磨に使用する消耗品の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により黒字転換いたしました。

その結果、売上高152百万円（前年同四半期比37.8%増）、セグメント利益16百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント損失）となりました。

## (産機システム事業)

大型パッケージ基板の自動検査ライン及びローダー・アンローダー装置等のロボット案件は販売できたものの、検査システム事業における各種検査システムの販売及び治具関連や仕入販売製品が低迷したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響はあったものの、前述のロボット案件が販売できたことにより損失が縮小いたしました。

その結果、売上高112百万円（前年同四半期比33.9%減）、セグメント損失14百万円（前年同四半期は29百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、2,879百万円となりました。これは主として、流動資産のその他に含まれる前渡金が減少した一方、現金及び預金並びに棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、2,106百万円となりました。これは主として、有形固定資産が取得により増加したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ173百万円増加し、1,065百万円となりました。これは主として、流動負債のその他に含まれる未払金が減少した一方、短期借入金及び夏季の賞与を計上したことにより流動負債のその他に含まれる未払費用が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、1,304百万円となりました。これは主として、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、2,616百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により使用した資金が38百万円、投資活動により使用した資金が80百万円、財務活動により獲得した資金が228百万円となり、その結果、資金は前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には825百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、38百万円（前年同四半期は101百万円の獲得）となりました。これは主として、減価償却費56百万円により資金が増加した一方、税金等調整前四半期純損失41百万円に加え、棚卸資産57百万円の増加及び売上債権35百万円の増加により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、80百万円（前年同四半期は24百万円の使用）となりました。これは主として、補助金の受取額98百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出134百万円及び無形固定資産の取得による支出39百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、228百万円（前年同四半期は232百万円の獲得）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出168百万円により資金が減少した一方、長期借入れによる収入280百万円及び短期借入金の純増加額166百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の連結業績予想については、足元の損益は当初予想を上回って推移しているものの、通期業績予想については、売上高計画の達成見込み状況等が現時点では不透明であることを考慮した上で、「2023年12月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり当初予想を据え置くこととし、今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,515,348	1,638,760
受取手形及び売掛金	669,420	705,646
有価証券	10,000	—
商品及び製品	88,946	66,488
仕掛品	239,071	307,252
原材料及び貯蔵品	118,434	130,473
その他	90,604	31,114
貸倒引当金	△444	△459
流動資産合計	2,731,381	2,879,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	312,056	303,343
機械装置及び運搬具(純額)	142,549	185,996
土地	906,987	912,019
その他(純額)	42,290	28,135
有形固定資産合計	1,403,883	1,429,494
無形固定資産		
その他	61,755	67,258
無形固定資産合計	61,755	67,258
投資その他の資産		
その他	601,528	613,656
貸倒引当金	△4,312	△4,162
投資その他の資産合計	597,216	609,493
固定資産合計	2,062,855	2,106,246
資産合計	4,794,236	4,985,524

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,555	109,544
短期借入金	353,245	545,908
未払法人税等	8,270	13,544
製品保証引当金	320	290
その他	400,700	396,012
流動負債合計	892,091	1,065,299
固定負債		
長期借入金	459,559	544,731
長期末払金	99,451	72,096
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	502,391	513,717
資産除去債務	9,246	9,247
固定負債合計	1,235,019	1,304,163
負債合計	2,127,110	2,369,462
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	815,198	815,198
資本剰余金	938,498	938,498
利益剰余金	801,351	749,754
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,554,931	2,503,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,023	41,689
為替換算調整勘定	40,424	42,302
その他の包括利益累計額合計	83,447	83,991
非支配株主持分	28,746	28,734
純資産合計	2,667,125	2,616,061
負債純資産合計	4,794,236	4,985,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月21日 至 2022年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)
売上高	1,764,860	1,761,862
売上原価	1,260,238	1,272,696
売上総利益	504,621	489,165
販売費及び一般管理費	529,571	550,357
営業損失(△)	△24,949	△61,192
営業外収益		
受取利息	758	794
受取配当金	590	640
為替差益	11,022	77
助成金収入	23,972	8,062
作業くず売却益	10,207	11,684
その他	3,461	5,487
営業外収益合計	50,013	26,747
営業外費用		
支払利息	4,809	4,902
債権売却損	1,788	1,954
その他	30	440
営業外費用合計	6,628	7,297
経常利益又は経常損失(△)	18,435	△41,743
特別利益		
補助金収入	5,000	98,723
特別利益合計	5,000	98,723
特別損失		
固定資産除却損	0	82
固定資産圧縮損	5,000	98,723
投資有価証券評価損	—	75
特別損失合計	5,000	98,882
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,435	△41,901
法人税等	10,480	△7,835
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,954	△34,066
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,829	△306
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	10,783	△33,760



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月21日 至 2022年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,954	△34,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,416	△1,333
為替換算調整勘定	11,449	2,171
その他の包括利益合計	6,032	838
四半期包括利益	13,986	△33,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,051	△33,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△64	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月21日 至 2022年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,435	△41,901
減価償却費	49,435	56,425
投資有価証券評価損益(△は益)	—	75
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△193	△30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△110	△134
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,528	11,326
受取利息及び受取配当金	△1,349	△1,434
支払利息	4,809	4,902
助成金収入	△23,972	△8,062
補助金収入	△5,000	△98,723
固定資産除却損	0	82
固定資産圧縮損	5,000	98,723
売上債権の増減額(△は増加)	129,486	△35,557
棚卸資産の増減額(△は増加)	△49,799	△57,430
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,629	△20,346
その他	△13,906	37,207
小計	113,733	△54,878
利息及び配当金の受取額	1,349	1,441
利息の支払額	△5,387	△5,260
助成金の受取額	23,972	8,062
補助金の受取額	5,000	—
法人税等の支払額	△38,125	△5,449
法人税等の還付額	919	18,048
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>101,463</b>	<b>△38,034</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	5,997	△12,002
有形固定資産の取得による支出	△18,035	△134,787
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
有価証券の償還による収入	—	10,000
無形固定資産の取得による支出	△9,610	△39,594
補助金の受取額	—	98,723
保険積立金の積立による支出	△1,689	△1,534
その他	10	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△24,527</b>	<b>△80,394</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	177,339	166,000
長期借入れによる収入	300,000	280,000
長期借入金の返済による支出	△188,190	△168,165
長期未払金の返済による支出	△27,471	△31,955
自己株式の取得による支出	△7	—
配当金の支払額	△29,519	△17,836
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>232,150</b>	<b>228,042</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,826	1,796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	314,913	111,410
現金及び現金同等物の期首残高	691,350	713,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,006,264	825,044

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年12月21日 至 2022年6月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,256,900	227,612	110,815	169,532	1,764,860	—	1,764,860
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	6,680	6,680	△6,680	—
計	1,256,900	227,612	110,815	176,213	1,771,541	△6,680	1,764,860
セグメント利益 又は損失(△)	278,156	△58,426	△1,291	△29,247	189,190	△214,140	△24,949

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△214,140千円には、セグメント間取引消去等8,424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,564千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年12月21日 至 2023年6月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,316,787	180,235	152,751	112,087	1,761,862	—	1,761,862
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	637	637	△637	—
計	1,316,787	180,235	152,751	112,724	1,762,499	△637	1,761,862
セグメント利益 又は損失(△)	244,563	△80,667	16,435	△14,820	165,510	△226,702	△61,192

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△226,702千円には、セグメント間取引消去等8,472千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235,175千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。